

健康通信

第3学年版

名古屋市立滝ノ水中学校

保健室

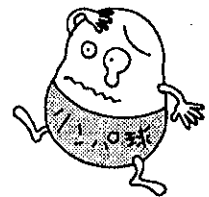
思春期の心と体

2月25日(木)の5時間目に「性」について学習をしました。思春期の心と体の特徴や、男女間の性差、性感染症などを中心に、椙山女学園大学の中嶋先生からお話をいただきました。

性感染症のお話では、水の交換実験も取り入れた内容で、みなさんにとっても分かりやすく学ぶことができたと思います。これからも、自分を守ることでできる行動をして、自分も相手も大切にすることのできる人になっていってくださいね。

☆講演内容

1. 性に関する実態調査結果 (アンケート結果)
2. 思春期の心と体の特徴
3. 男女間の性差
4. 男女交際のあり方 (ロールプレイング)
5. 性感染症について (水の交換実験) 等

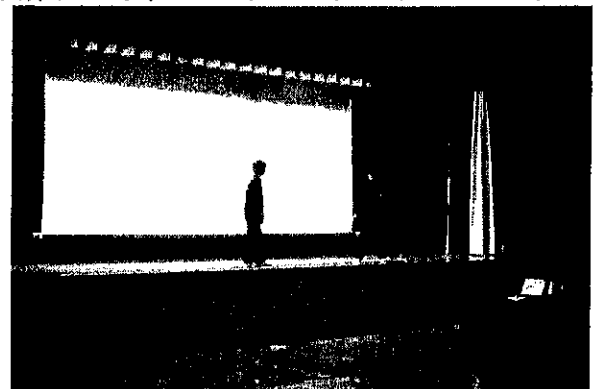


☆保健委員会の生徒によるロールプレイング

<場面1：性の間違った情報を先輩から…>



<場面2：気づかぬうちにデートDVに…>



☆性感染症の広がりを表す水の交換実験

水の交換を3回行い、最後に試薬をコップに入れるとピンク色に変化した人と無色のまま変化しなかった人に分かれました。最初14人中2人だった感染者が、たった3回の交換で半分以上の人に感染が拡大してしまったことを、目で見て学ぶことができました。



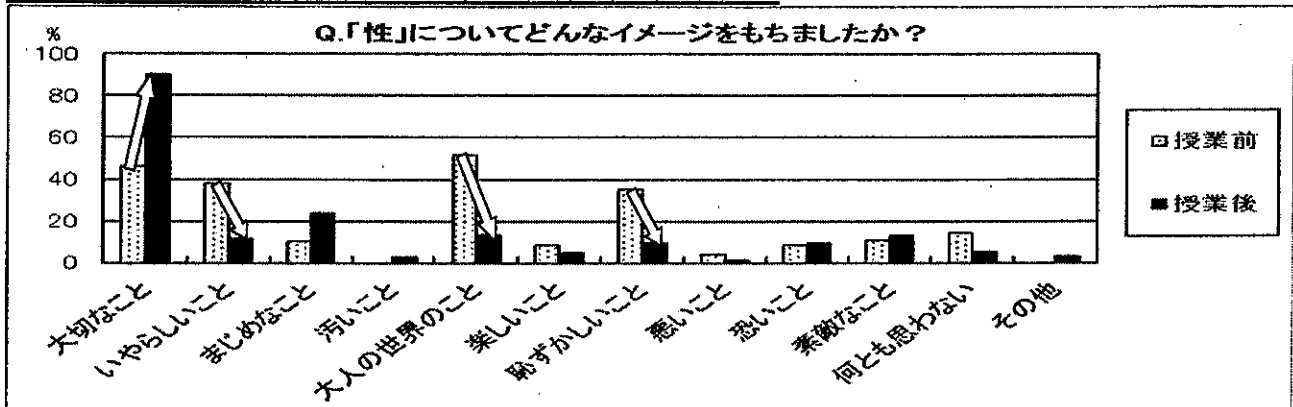
☆講師：中嶋文子先生



☆司会進行を務めた保健委員



☆「性」に対するイメージの変化（授業前と授業後）



☆感想

<男子>

- ・性感染症の広がりの実験を見て、たった数回であそこまで広がるのがとても怖いと思った。
- ・知らない間に感染しているのが、怖いと思った。
- ・性は一生自分に関わってくるものだというところが印象に残った。
- ・自分もこれから大人に近づいていくので、ちゃんと性について考えなくてはならないと思った。
- ・周りの人を大切にすることと、親がいろいろ思ってくれていることも忘れずに生きていきたい。
- ・誰でもいいではなく、特別な人という気持ちを持たないといけない理由がよく分かった。
- ・相手のことも考え、自分の行動に責任を持たないといけないことが分かった。
- ・お互いがお互いのことを考えて思いやることが大切だと思った。
- ・ずっといやらしい印象しかなかったのが、今回の授業でとても大切なことだと知ることができた。
- ・自分たちが生まれてきたことが、すごいことだと分かって、自分の命を大切にしようと思った。

<女子>



- ・女性が赤ちゃんを生むことは、命がけでもあって、大変なことだと思った。
- ・性という言葉は、初め私にはまだ関係ないと思っていたけど、すごく大切なことだと分かった。
- ・自分と相手では思っていることが違って、自分ではいいことのつもりが、相手には苦になっていることもあるのだと思い、相手のことも考えることが大切だと思った。
- ・性はとても大事なことで、その発達には個人差があること、自分も相手もかけがえのない命をもっていることなどが分かったため、これからは相手の気持ちを考えて行動できるようになりたい。
- ・男女で考えていることが異なるから、ちゃんと言葉で伝えないといけないと思った。
- ・この授業を受けるまでは、曖昧な知識ばかりだったので、正しい知識を知れてよかった。
- ・自分の身体を大切にしようと思った。相手も大切にできるように、断る力も必要だと思った。
- ・自分の意見は、やっぱりしっかりと相手に伝えるべきだと思った。そして、相手の意見もきちんと聞いて、考えるべきだと思った。
- ・自分も誰かに憧れや羨ましいという気持ちを最近もつことが多かったが、これは思春期では普通のことだと知って、少し安心した。